

第1回 みどり市総合計画審議会における意見と今後の考え方について

□内 容：第1回会議（令和6年9月30日）においては、主に4つの重点取組について説明を行い、意見聴取を行った。

No	意見	考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住、空き家対策の取組として、東京の方からの誘致は非常に良いと思う。空き家空地の利活用については、商工や観光で連携していただきながら商工会としても会員に情報提供するなどの協力をさせていただきたい。このような取組が定住、または、稼げる仕組みに繋がると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、空き家対策としては、空き家改修補助だけでなく、空き店舗の活用に向けたリノベーションまちづくりなどの取組を進めています。 ・今後も市内の連携を図りながら、空き家や空き店舗を資産として捉え、まちとしても稼げる仕組みとして有効活用に向けた検討を進めていきたいと考えております。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から来る人は、街並みやながめ余興場などのレトロさがいなと思ってもらえることが多い。大間々の商店街や、東、岩宿など、みどり市が元々持っている魅力を見捨てないで、みんなで協力して盛り上げていけると良い。交流人口を増やすことも定住につながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり市の潜在的な魅力は多くある。さらなる磨き上げを進めながら、それぞれを点としてではなく、面として捉え、それぞれの観光資源などを繋ぎながら相乗効果を生むような取組（映画制作と周辺施設の連携による外部への効果的なプロモーションなど）による交流人口の増加を図っていきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の観点からは、部活動の地域移行という話が進んでいると思うが、ぜひ地域との協働という形で計画内に示すなどのご検討をいただければと思う。地域の方々のスポーツの充実にも繋がる取組である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行は学校側の負担軽減だけでなく、地域とのつながりを生む取組でもあります。地域スポーツの充実が市民の方々の健康づくりや地域活性化に結び付くものであり、重要なものと捉えておりますので、総合計画における考え方ともしっかり紐づけてまいります。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・防災減災において、最近ではフェーズフリーという考え方があり、日常と非常時をあまり区分けせず、普段から防災意識を取り入れるような商品や対策が広がっている。そのような考えを市民の方々に広めていくことや、非常時となった際にどのぐらいの水が使えるのかといったことを公表されると市民が危機感を持って対策を意識するという事に繋がると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災については、自助・公助・共助の考え方が重要であり、市民の方々も自ら身を守るという意識が必要です。 ・そのためには、ご意見にあるように、非常時にどのような状況が考えられるかなど、具体例を示しながら意識してもらえよう働きかけをしていきたいと考えております。